

## 第1・2回加東市総合計画審議会における意見等に対する考え方について【基本構想関係分】

## 意見の取扱い区分

「●」…基本構想（素案）へ反映済

「◇」…参考意見等（基本構想へ反映しない）

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
1	基本構想	委員	加東市はオリジナリティがあって魅力があると感じるのは、地域産業が盛んなまち、子育て環境が充実したまち、公共施設が充実したまちだと思う。それらの優先順位を上げる、クローズアップする方がアピールになると思う。また、「災害が少ないまち」をもう少し強調しても良いと思う。	●		まちづくりの方向性（ひとづくり、くらしづくり、まちづくり）を考慮し、順番を入れ替えました。	企画協働課
2	基本構想	委員	加東市民へのアンケート結果（資料3P22）では、「加東市の好きなところ・誇れるところ」の第1位に「自然環境がよい」が挙げられているにもかかわらず、本素案では「豊かな自然がひろがるまち」が5番目と優先度が低くなっている。一方、本素案で最初に挙げられている「子育て環境が充実したまち」は市民アンケートでは10位であり、市民アンケート結果との整合性がないため、市役所側の願望ありきで市民実感とかけ離れているように思われる。市民アンケート結果と順番を合わせた方が良いのではないか。 【会議においても意見あり】	●	20 ～ 23		企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
3	基本構想	委員	「加東市の魅力」についての項目は1～9までと多く、どこかの自治体と同じような内容があると説得力が弱くなり、具体的に伝わってこない。加東市の魅力が十分に伝わるよう考えてほしい。 【会議での意見】	●	20 ～ 23	加東市独自・固有の内容を追記するとともに、それぞれのタイトルを変更しました。	企画協働課
4	基本構想	委員	「5 豊かな自然がひろがるまち」の「多様な生物の生息空間となっています」については、具体性に乏しく、豊かな自然がイメージできないことから具体的な生物名を挙げてはどうか。	●	21	水生や陸生の多くの種類の動植物などが生息しており、加東市独自のものが限定しにくいいため、「水生や陸生の動植物など」と表現します。	生活課
5	基本構想	委員	「豊かな自然がひろがるまち」に、自然との共生や生物多様性等の体験学習も盛んに実施されている県立やしろの森公園も追記してはどうか。(平成28年度の来園者数3万人)	●	21	追記しました。	生活課
6	基本構想	委員	「住環境が優れたまち」の中に防災のことを書かれているが、各団体、自治体、企業等、市全体で積極的に防災の取組を行っていることを踏まえ、「防災活動に積極的なまち」など、魅力の1つとしてアピールしてはどうか。	●	23	「防災・減災対策を積極的に進めるまち」を魅力の1つとして追加しました。	防災課
7	基本構想	委員	第3章の「加東市を取り巻く社会潮流」について、もう少し内容をシンプルにした方が良いのではないか。現状を説明する部分ではできるだけ少なくして「何をするか」というところに重点を置いた方が良いと思う。 【会議での意見】	●	24 ～ 32	全国の動向と本市の動向に分け、それぞれの現状と課題を整理しました。	企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
8	基本構想	委員	「1 少子高齢化や人口減少社会の進行」及び「2 ライフスタイルや価値観の多様化」にマイノリティーや互いの価値観の違いを認め合える社会の追加を検討してはどうか。	●	26	「ライフスタイルや価値観の多様化と地域コミュニティの希薄化」の全国の動向として追記しました。	企画協働課
9	基本構想	委員	<p>「2 ライフスタイルや価値観の多様化」と「3 地域コミュニティの希薄化」を次のように一体化してはどうか。</p> <p>無縁社会とか、加入率の低下の文言があるが、これらは都市部のことを指していると思われる、これらは内容的に重複しているように思われる。</p> <p>⇒「2 ライフスタイルの多様化と市民活動の活性化」</p> <p>近年はライフスタイルや価値観の多様化などによって、自分自身や家族との関係を大切にしつつ、仕事の両立を図りたいと考える人が増えています。家庭や地域社会などで子育て期や中高年期といった人生の各段階に応じて自分の希望する様々な生き方を実現しようとするワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の意識が強まっています。地域社会では、子ども・大人もストレスが増大する中であって、ともすれば地域コミュニティの希薄化が危惧されています。</p> <p>本市ではこれまでから子ども見守り隊、クリーンキャンペーンなどの市民活動が行われていますが、これからは子育ても社会全体で支援するということが必要になります。まちづくりは市民同士のつながりが不可欠であるという意識を市民一人ひとりが持ち、つながりを大切にする温もりのあるコミュニティを維持するとともに、活発な文化・市民活動を生み育てていくことが重要となります。</p>	●	26 27	「ライフスタイルや価値観の多様化」と「地域コミュニティの希薄化」を、御意見を参考に一体化し、全国の動向と本市の動向に分けて内容を整理しました。	企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
10	基本構想	委員	<p>「5 持続可能な循環型社会への対応」については、何を根拠に書かれているのか不透明なので、根拠を押さえ、「3 地域コミュニティの希薄化」のように加東市として何ができるのかを記入したほうがわかりやすいと思う。</p> <p>⇒化石燃料は枯渇しているのか。賛否両論です。地球は温暖化しているが氷河期が来るとい説も多くあります。根拠には「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の報告書を利用すればいいと思う。ただし、加東市としてその多数ある見解の中で、これを選ぶか否か検討することが望ましい。</p> <p>今日の環境問題は、ごみ問題などの身近な問題から、地球温暖化など地球規模の問題まで多様化・複雑化しています。これらの環境問題は、事業活動や日常生活に起因しており、社会経済活動や市民一人ひとりの考え方や生活様式そのものを変えていく必要がある。特に、地球温暖化については、IPCCの第5次評価報告書によると地球温暖化は疑う余地がなく、「昭和26年～平成22年の世界平均地上気温の観測された上昇の半分以上は、温室効果ガス濃度の人為的増加とその他の人為的期限強制力の組み合わせによって引き起こされた可能性が極めて高い」としている。</p> <p>【会議においても意見あり】</p>	●	30	全体的に内容を整理し、「化石燃料をはじめとするエネルギーの枯渇」の表現を削除しました。また、本市の動向として、現状や取組を踏まえた課題を記載しました。	生活課
11	基本構想	委員	<p>「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち加東」は、加東市の自然や立地条件をよく捉えているので継承すべきだと思う。</p>	●	44 45	現行のメインテーマは継承したいと考えています。	企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
12	基本構想	委員	「第2章 将来目標」の市民憲章の後に書いてある文章と「まちの将来像」の文章が似た内容となっているため、2ページを1つにまとめる程度で文字数を減らした方が良くはないか。 【会議での意見】	●	44 45	内容が重複する部分を削除し、整理しました。	企画協働課
13	基本構想	委員	加東市以外の方に聞くと、東条湖が最も有名であると答えられるので、案として、東条湖、加古川の水系、ため池なども含めて「美しい湖水(うみ)」とし、多くの工場の進出、兵庫教育大学の立地など独自の産学があり、他方では伝統のある行事も多いので「伝統ある文化」と表現した。サブテーマへの検討をお願いしたい。 【会議での意見】	●	44 45	主にメインテーマに関係する内容であることから、メインテーマの説明文にその内容を一部記載するとともに、御意見の内容を、市民の思いとして記載しました。	企画協働課
14	基本構想	委員	土地利用構想について、土地区画整理事業や産業団地の開発等具体的に書けるものは、書いた方がよいのではないか。 【会議での意見】	●	47 48	「都市構想」の中で、都市機能(交通結節機能等)の充実や工業団地用地の確保などへ向けた取組を記載しました。	地域整備課 まち未来課
15	基本構想	委員	土地利用構想に、次の文章を入れてはどうか。 ⇒若年層が減少していく中、市内の若年層の定住化及び市外の若年層の誘導・定住化を図るため、新しい住宅団地の整備並びに市街地の形成、新設道路の整備が必要である。	●	47 48	「都市構想」の中で、市街地の創造、道路ネットワークや新たな南北交流軸形成へ向けた取組を記載しました。	まち未来課 地域整備課 土木課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
16	基本構想	委員	土地利用構想に、次の文章を入れてはどうか。 ⇒第4次産業革命の波は地方の都市にも及び、この波に乗って先端技術を駆使した地域産業の振興が図れるように産業基盤の整備、開発が必要である。同時に新産業の進展に伴って淘汰される従来型の産業で職場を失った従業員のために新産業の工業団地の開発も視野に入れる必要がある。	●	47 48	「都市構想」の中で、新たな工業団地用地の確保へ向けた取組を記載しました。	商工観光課 まち未来課
17	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒本市東条地区は、少子高齢化が進んでいるが、ひょうご東条ICがあり、黒谷には東条湖・遊園地・ホテルがあり、南山地区には工業団地及びこれに隣接する優良な住宅団地が開発されており、天神地区の天神東崎鹿谷土地区画整理地区と連携して地域振興を図る必要がある。	●	47 48	「都市構想」の中で、ひょうご東条ニュータウンインターパーク、天神西土地区画整理事業や天神東崎鹿谷土地区画整理事業の区域などの既成市街地を中心とした地域を「既存ストック活用ゾーン」として位置付け、市街地等の充実を図っていくことを記載しました。	まち未来課 商工観光課 地域整備課 企画協働課
18	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒今後、社市街地・上滝野の市街地は商店街の後継者難等から商店街の衰退を余儀なくされ、また、住宅地域も空き家が増えて空洞化することが見込まれることから、市街地の環境の維持を図る。	●	47 48 53	「まちづくり」と「都市構想」の中で、まち全体の土地利用や都市構造について包括的に記載しました。	まち未来課 商工観光課 地域整備課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
19	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒市制になってからも旧町の形態がそのままの状態に残っており、人口4万人規模の中心になるエリア（スポット）が形成されていないので、本市の顔になるエリア（スポット）の整備を図る。	●	47 48 53	「まちづくり」と「都市構想」の中で、まちの拠点づくりについて記載しました。	まち未来課 企画協働課
20	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒第4次産業革命が進行し、人口知能・IoTなどの先端技術を駆使した産業が今後大きく成長すると見込まれることから、市内の大手企業・中小工場が先端技術を活用できるような社会的投資を図る。また、従来からの産業が淘汰されて職場を失った従業員のために、新たな企業の受け入れ先となる工業団地の開発の必要が見込まれる。	●	47 48 53	「まちづくり」と「都市構想」の中で、新たな工業団地用地の確保へ向けた取組を記載しました。	商工観光課 まち未来課
21	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒市外の若年層の市内への誘導・定住化を図るために土地区画整理事業等を行い、また、シンボルゾーンなどを築造し、新しい市街地の整備を図る。	●	47 48 53	「まちづくり」と「都市構想」の中で、まちの拠点づくりやゾーン形成、市街地の創造について記載しました。	地域整備課 まち未来課 企画協働課
22	基本構想	委員	まちづくりの視点（方向性）について、図にある「ひとづくり」、「まちづくり」、「くらしづくり」のそれぞれの協働の仕組みをどう作るかを考えてみることに、そこに行政経営がどのようにかわるかを具体的に考えてみることに、まちづくりの方向性になると思う。 【会議においても意見あり】	●	49 ～ 55	まちづくりの方向性を全体的に整理するとともに、協働の必要性、取組などを記載しました。	企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
23	基本構想	委員	「くらしづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒地域産業が連携して若年層の子育て支援に取り組むよう誘導を図る。	●	50	「ひとづくり」の中で、市民や地域と連携した子育てネットワークの形成へ向けた取組を記載しました。	商工観光課 子育て支援課
24	基本構想	委員	1ひとづくりの6行目「育成・確保をはじめ」を「確保を進め」などと表現してはどうか。	◇	51 52	まちづくりの方向性の内容区分を整理し、「くらしづくり」の中で記載しました。また、表現は、国・県においても、「担い手の育成」としており、表現をあわせています。	農林課
25	基本構想	委員	「ひとづくり」の12・13行目「あいさつや声かけなどにより」は、「地域福祉を支える担い手の育成」にかからないのではないか。	●	51 52	まちづくりの方向性の内容区分を整理し、「くらしづくり」の中で、地域で支え合いながら共生できる福祉社会づくりに取り組むことを記載しました。	福祉部
26	基本構想	委員	「くらしづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒生活環境の整備(と共に経済的生活水準の向上を図ること)を目指します。〔働きやすい環境を創り、経済的生活水準の向上を図ることも大事である〕	●	51 52	「くらしづくり」の中で、包括的に記載しました。	商工観光課 等



番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
27	基本構想	委員	「まちづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒農村の住民の高齢化が進むに伴って、農業の担い手が減少し、耕作条件の悪いところでは放棄田が増えると見込まれるので、美しい田園風景を守るためにも農地の流動化等を図る必要がある。	●	51 52	「くらしづくり」の中で、農業の担い手育成や農地の流動化について記載しました。	農林課 農業委員会 地域整備課
28	基本構想	委員	概案では「くらしづくり」と「まちづくり」との産業・雇用面における用法が曖昧になっているように思われる。「まちづくり」は「器」・「箱もの」などハード面に特化した方が、「くらしづくり」との関係で分かりやすいと思われるので、「まちづくり」の「商工業の基盤の強化や経営の健全化の促進など、地域産業の振興を図る」の文章は、「くらしづくり」に入れてはどうか。	●	51 ～ 53	地域産業に関する内容を「くらしづくり」に、都市基盤等のハード的な内容を「まちづくり」に記載しました。	商工観光課 企画協働課
29	基本構想	委員	「ひとづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒市内の若年層の転出を防ぐと同時に、市外からの若年層の転入を誘導する。	●	54	「行政経営」の中で、移住定住の促進と交流人口の拡大について包括的に記載しました。	企画協働課 まち未来課
30	基本構想	委員	「くらしづくり」に次の文章を入れてはどうか。 ⇒公共施設の適正化の取組により、公共施設の集約化が進む地区で暮らす高齢者世帯の生活利便性を図る必要がある。	●	54	「行政経営」の中で、公有財産の適正運用について記載しました。	財政課 高齢介護課 企画協働課

番号	内容区分	提出者	意見	意見の 取扱い区分	P	考え方 (計画への反映について)	担当部署
31	基本構想	委員	<p>「行政経営」について、財政の安定や安定した収入を得るにはどうしたらよいかということをもう少しわかりやすく、現実的な表記として記載すべきではないか。</p> <p>あれもこれもするといって財政が崩れてはどうか、あれもこれもないので、そういったところについての言葉があれば良いのではないか。</p> <p>【会議での意見】</p>	●	54	<p>「行政経営」の中で、財源確保や行政評価システムの構築などによる効果的な経営資源の配分について記載しました。</p>	<p>財政課 企画協働課</p>